

フィリピン 新電電スマート社への経営参画

The Philippines: Managerial participation in Smart Communication, Inc.,
a new common carrier

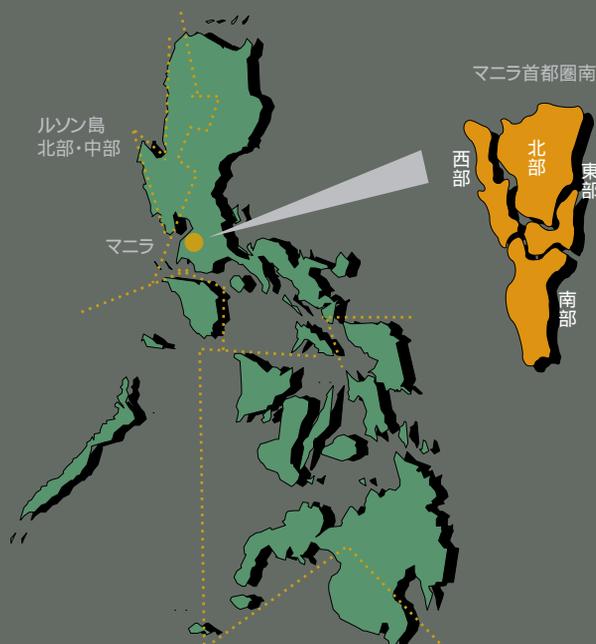
フィリピンでは、主にPLDT社が一般電話サービス事業を運営してきたが、電話網拡充政策によりサービス地域の一部がスマート社に割り当てられることになった。このため、スマート社は1995年から固定電話サービスを提供している。NTTでは同社に37%の出資を行い、戦略的パートナーとして同社を支援していた。その後、NTTはスマート社株についてPLDT社と株式交換を実施し、スマート社はPLDT社の100%子会社となった。NTTはそれにより、PLDT社に15%の出資を行っている。

スマート社の一般電話サービスエリア

General telephone service area for Smart Communications, Inc.



NTT PLDT共同記者会見(1999年6月)



スマート社(NTT)

- ETPI(C&W)
- ICC(NYNEX)
- グローブテレコム
- (シンガポールテレコム)
- CAPWIRE(コリアテレコム)
- イスラエル/ドイツテレコム、
- タイ・Shinawatra Group)
- フィルコム(米 Comsat)
- ビルテル(フィリピン・PLDT)

()内は主要出資者

通信インフラ整備状況(普及率)

- 基本網 258万加入(3.5%)
- セルラー 164万加入(2.2%)

(1998年現在)